

大学は人格協同体

実方学長「校舎・カリキュラム」「自治」「学生運動」を語る

的立場で展開を

長 一	丹 羽 正 男	大和運輸株式会社 専務取締役
四郎 吉 吉	玉井 英夫	玉井 人事課 TEL (0731-2) 11148
猛	池田 宣彌	公認会計士 税理士 (昭和四年卒)
四郎 吉 吉	郎 郎	公認会計士 税理士 (昭和五年卒)
長 一	夫 夫	監査法人 池田昇一事務所 代表社員 公認会計士 (昭和五年卒)
太郎 太郎	小林 重雄	あけぼの真珠株式会社 取締役社長 (昭和三年卒)
一	本田 隆	本田公認会計士事務所 (昭和三年卒)

社党支持率激減

エンブラン寄港反対93%に

政治意識

政治意識の変化が注目される。たとえば、朝日新聞は「左派」から「右派」へと大きく移動している。また、社会主義支持率も減少傾向にある。

政治生活

学生運動



運動

学生運動

井藤久也

公認会計士

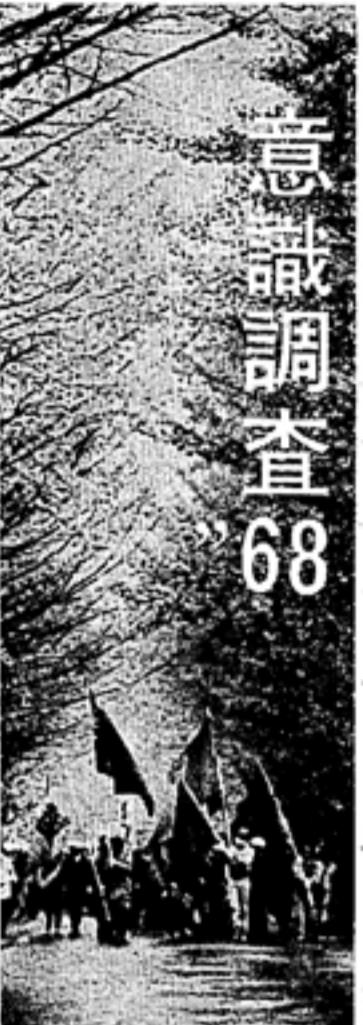
税理士

平田英彦
ビル経営
代表社員

今井慎一
合資会社 士別木工品製作所
公認会計士
税理士

山本信爾
小樽倉庫株式会社
取締役社長

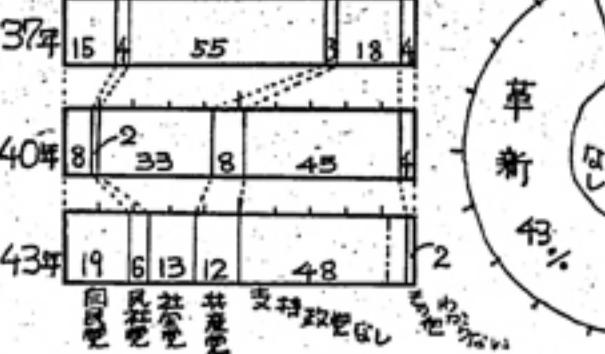
近江禎二
チエルベルジ(株)



調査68

(1) あなたの支持政党は?

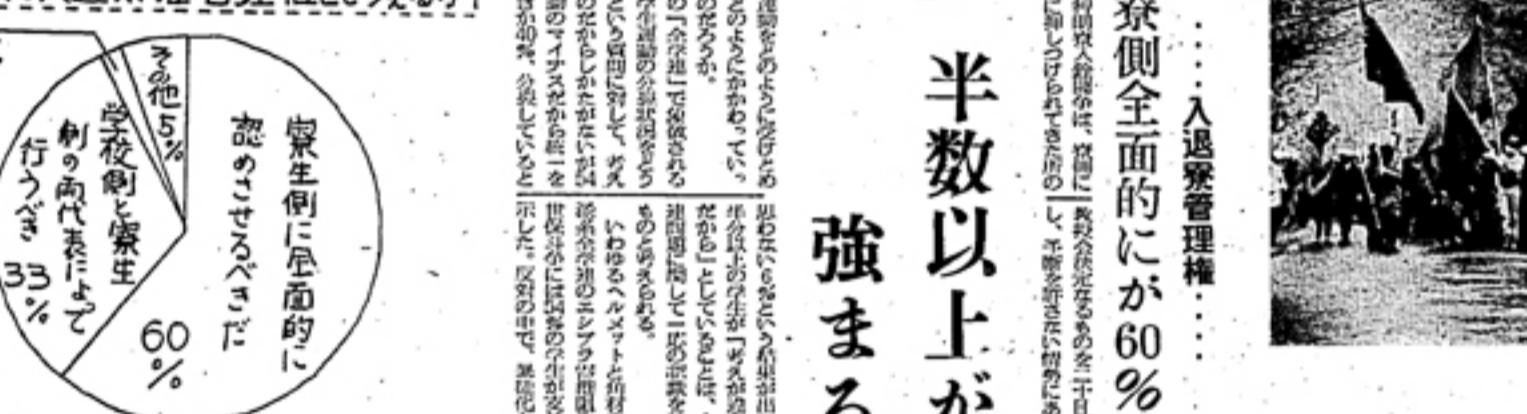
A. 37年40年との比較 B. 43年度



（2）あなたのアルバイト状況は?



(3) あなたの入退寮権管理権をどう見るか?



(4) 学生運動

半数以上が支持

三派系エンブラン

実力阻止斗争

自治会運動

寮側全面的にが60%

入退寮管理権

強まる執行部批判

（5）政治意識

（6）政治活動

（7）政治知識

（8）政治行動

（9）政治意識

（10）政治活動

（11）政治知識

（12）政治行動

（13）政治意識

（14）政治活動

（15）政治知識

（16）政治行動

（17）政治意識

（18）政治活動

（19）政治知識

（20）政治行動

（21）政治意識

（22）政治活動

（23）政治知識

（24）政治行動

（25）政治意識

（26）政治活動

（27）政治知識

（28）政治行動

（29）政治意識

（30）政治活動

（31）政治知識

（32）政治行動

（33）政治意識

（34）政治活動

（35）政治知識

（36）政治行動

（37）政治意識

（38）政治活動

（39）政治知識

（40）政治行動

（41）政治意識

（42）政治活動

（43）政治知識

（44）政治行動

（45）政治意識

（46）政治活動

（47）政治知識

（48）政治行動

（49）政治意識

（50）政治活動

（51）政治知識

（52）政治行動

（53）政治意識

（54）政治活動

（55）政治知識

（56）政治行動

（57）政治意識

（58）政治活動

（59）政治知識

（60）政治行動

（61）政治意識

（62）政治活動

（63）政治知識

（64）政治行動

（65）政治意識

（66）政治活動

（67）政治知識

（68）政治行動

（69）政治意識

（70）政治活動

（71）政治知識

（72）政治行動

（73）政治意識

（74）政治活動

（75）政治知識

（76）政治行動

（77）政治意識

（78）政治活動

（79）政治知識

（80）政治行動

（81）政治意識

（82）政治活動

（83）政治知識

（84）政治行動

（85）政治意識

（86）政治活動

（87）政治知識

（88）政治行動

（89）政治意識

（90）政治活動

（91）政治知識

（92）政治行動

（93）政治意識

（94）政治活動

（95）政治知識

（96）政治行動

（97）政治意識

（98）政治活動

（99）政治知識

（100）政治行動

（101）政治意識

（102）政治活動

（103）政治知識

（104）政治行動

（105）政治意識

（106）政治活動

（107）政治知識

（108）政治行動

（109）政治意識

（110）政治活動

（111）政治知識

（112）政治行動

（113）政治意識

（114）政治活動

（115）政治知識

（116）政治行動

（117）政治意識

（118）政治活動

（119）政治知識

（120）政治行動

（121）政治意識

（122）政治活動

（123）政治知識

（124）政治行動

（125）政治意識

（126）政治活動

（127）政治知識

（128）政治行動

（129）政治意識

（130）政治活動

（131）政治知識

（132）政治行動

（133）政治意識

（134）政治活動

（135）政治知識

（136）政治行動

（137）政治意識

（138）政治活動

（139）政治知識

（140）政治行動

（141）政治意識

（142）政治活動

（143）政治知識

（144



戦後商大学生運動の歩み

二十年
学園の民主化へ

戦後商大学生運動の歩み

（昭和43年1月10日付）

三一年
自治会結成へ

三二年
拒否権の
反対デモ

三三年
学長候補の
反対

三四年
講座問題

三五年
安保闘争

三六年
学校調査と
対決へ

三七年
講義態度
問題

三八年
撤回問題

三九年
道学連会場
使用問題

四〇年
三五、三九年
安保以後

四一年
日韓問題

四二年
三九、四〇年
阻止を

四三年
能沢木材取締役社長

四四年
佐藤公認会計士事務所長

四五年
新規印刷株式会社

四六年
北海道製版株式会社

四七年
佐藤公認会計士事務所長

四八年
飯野炭礦株式会社専務取締役

四九年
菊池琢郎

五〇年
赤川賢之輔

五一年
能沢正義

五二年
新規印刷株式会社

五三年
北海道製版株式会社

五四年
佐藤公認会計士事務所長

五五年
飯野炭礦株式会社専務取締役

五六年
菊池琢郎

五七年
赤川賢之輔

五八年
能沢正義

五九年
新規印刷株式会社

六〇年
北海道製版株式会社

六一年
佐藤公認会計士事務所長

六二年
飯野炭礦株式会社専務取締役

六三年
菊池琢郎

六四年
赤川賢之輔

六五年
能沢正義

六六年
新規印刷株式会社

六七年
北海道製版株式会社

六八年
佐藤公認会計士事務所長

六九年
飯野炭礦株式会社専務取締役

七〇年
菊池琢郎

七一年
赤川賢之輔

七二年
能沢正義

七三年
新規印刷株式会社

七四年
北海道製版株式会社

七五年
佐藤公認会計士事務所長

七六年
飯野炭礦株式会社専務取締役

七七年
菊池琢郎

七八年
赤川賢之輔

七九年
能沢正義

八〇年
新規印刷株式会社

八一年
北海道製版株式会社

八二年
佐藤公認会計士事務所長

八三年
飯野炭礦株式会社専務取締役

八四年
菊池琢郎

八五年
赤川賢之輔

八六年
能沢正義

八七年
新規印刷株式会社

八八年
北海道製版株式会社

八九年
佐藤公認会計士事務所長

九〇年
飯野炭礦株式会社専務取締役

九一年
菊池琢郎

九二年
赤川賢之輔

九三年
能沢正義

九四年
新規印刷株式会社

九五年
北海道製版株式会社

九六年
佐藤公認会計士事務所長

九七年
飯野炭礦株式会社専務取締役

九八年
菊池琢郎

九九年
赤川賢之輔

二〇〇〇年
能沢正義

二〇〇一年
新規印刷株式会社

二〇〇二年
北海道製版株式会社

二〇〇三年
佐藤公認会計士事務所長

二〇〇四年
飯野炭礦株式会社専務取締役

二〇　五年
菊池琢郎

二〇　六年
赤川賢之輔

二〇　七年
能沢正義

二〇　八年
新規印刷株式会社

二〇　九年
北海道製版株式会社

二〇一〇年
佐藤公認会計士事務所長

二〇一一年
飯野炭礦株式会社専務取締役

二〇一二年
菊池琢郎

二〇一二年
赤川賢之輔

二〇一二年
能沢正義

二〇一三年
新規印刷株式会社

二〇一四年
北海道製版株式会社

二〇一五年
佐藤公認会計士事務所長

二〇一六年
飯野炭礦株式会社専務取締役

二〇一七年
菊池琢郎

二〇一七年
赤川賢之輔

二〇一七年
能沢正義

二〇一八年
新規印刷株式会社

二〇一九年
北海道製版株式会社

二〇二〇年
佐藤公認会計士事務所長

二〇二一年
飯野炭礦株式会社専務取締役

二〇二二年
菊池琢郎

二〇二二年
赤川賢之輔

二〇二二年
能沢正義

二〇二三年
新規印刷株式会社

二〇二四年
北海道製版株式会社

二〇二五年
佐藤公認会計士事務所長

二〇二六年
飯野炭礦株式会社専務取締役

二〇二七年
菊池琢郎

二〇二七年
赤川賢之輔

二〇二七年
能沢正義

二〇二八年
新規印刷株式会社

二〇二九年
北海道製版株式会社

二〇三〇年
佐藤公認会計士事務所長

二〇三一年
飯野炭礦株式会社専務取締役

二〇三二年
菊池琢郎

二〇三二年
赤川賢之輔

二〇三二年
能沢正義

二〇三三年
新規印刷株式会社

二〇三四年
北海道製版株式会社

二〇三五年
佐藤公認会計士事務所長

二〇三六年
飯野炭礦株式会社専務取締役

二〇三七年
菊池琢郎

二〇三七年
赤川賢之輔

二〇三七年
能沢正義

二〇三八年
新規印刷株式会社

二〇三九年
北海道製版株式会社

二〇四〇年
佐藤公認会計士事務所長

二〇四一年
飯野炭礦株式会社専務取締役

二〇四二年
菊池琢郎

二〇四二年
赤川賢之輔

二〇四二年
能沢正義

二〇四三年
新規印刷株式会社

二〇四四年
北海道製版株式会社

二〇四五年
佐藤公認会計士事務所長

二〇四六年
飯野炭礦株式会社専務取締役

二〇四七年
菊池琢郎

二〇四七年
赤川賢之輔

二〇四七年
能沢正義

二〇四八年
新規印刷株式会社

二〇四九年
北海道製版株式会社

二〇五〇年
佐藤公認会計士事務所長

二〇五一年
飯野炭礦株式会社専務取締役

二〇五二年
菊池琢郎

二〇五二年
赤川賢之輔

二〇五二年
能沢正義

二〇五三年
新規印刷株式会社

二〇五四年
北海道製版株式会社

二〇五五年
佐藤公認会計士事務所長

二〇五六年
飯野炭礦株式会社専務取締役

二〇五七年
菊池琢郎

二〇五七年
赤川賢之輔

二〇五七年
能沢正義

二〇五八年
新規印刷株式会社

二〇五九年
北海道製版株式会社

二〇六〇年
佐藤公認会計士事務所長

二〇六一年
飯野炭礦株式会社専務取締役

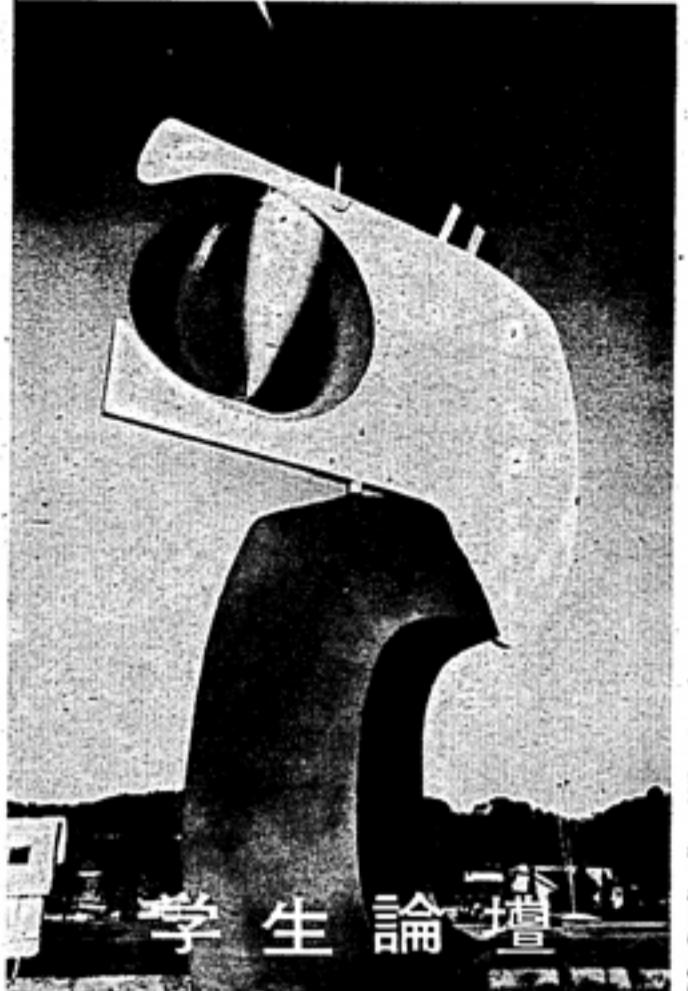
二〇六二年
菊池琢郎

二〇六二年
赤川賢之輔

二〇六二年
能沢正義

婦人の解放と婦人労働に対する我々の眼

浅井 肇 (80年度生)



近代社会構造の変化

高橋 富夫 (四十二年度生)

福 本方では公私両面での女性の地位が著しく高まっている。これは、女性の教育水準の向上と、社会的・経済的環境の変化によるものである。特に、高等教育の進歩により、女性の知識と才能が認められ、職業選択の範囲が広がった。また、産業構造の変化により、女性労働者の割合が増加した。しかし、依然として家庭主婦層が大半を占め、職業女性はまだ少数派である。

前 本方では、女性の社会参画がますます進展している。特に、高等教育の進歩により、女性の知識と才能が認められ、職業選択の範囲が広がった。また、産業構造の変化により、女性労働者の割合が増加した。しかし、依然として家庭主婦層が大半を占め、職業女性はまだ少数派である。

論 生 字

会 告

今 本方では、女性の社会参画がますます進展している。特に、高等教育の進歩により、女性の知識と才能が認められ、職業選択の範囲が広がった。また、産業構造の変化により、女性労働者の割合が増加した。しかし、依然として家庭主婦層が大半を占め、職業女性はまだ少数派である。

D 会 告

今 本方では、女性の社会参画がますます進展している。特に、高等教育の進歩により、女性の知識と才能が認められ、職業選択の範囲が広がった。また、産業構造の変化により、女性労働者の割合が増加した。しかし、依然として家庭主婦層が大半を占め、職業女性はまだ少数派である。

川畑 了三 (42年度生)

現 在 本方では、女性の社会参画がますます進展している。特に、高等教育の進歩により、女性の知識と才能が認められ、職業選択の範囲が広がった。また、産業構造の変化により、女性労働者の割合が増加した。しかし、依然として家庭主婦層が大半を占め、職業女性はまだ少数派である。

平 松 本 義 一 (43年度生)

専務取締役

竹山食品工業株式会社

杉岡 幸三郎 (43年度生)

大万商店

若山 永太郎 (43年度生)

映画評論

孤 立 し た ア ジ

高橋 大闘争の記録

心の内に抱く想い

時代の潮流に溶け込む

時代の

